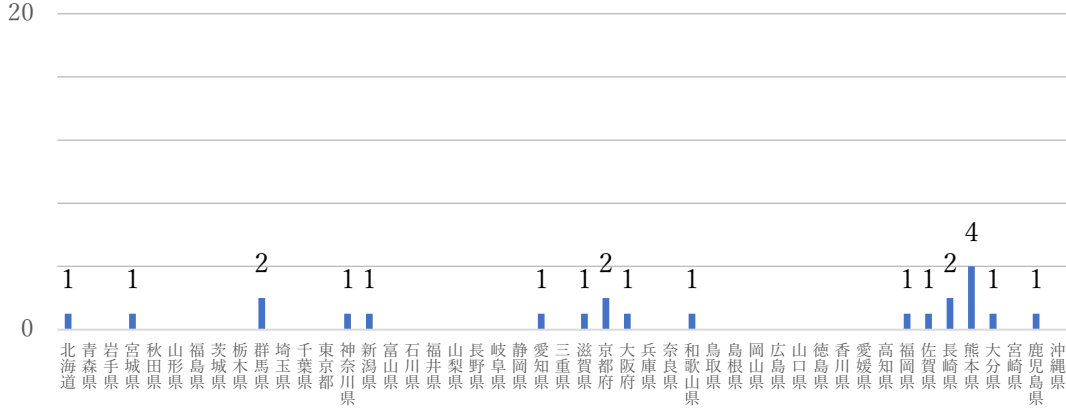


2022.2.24 座談会 2 アンケート結果

【1】 あなたのことについてお尋ねします

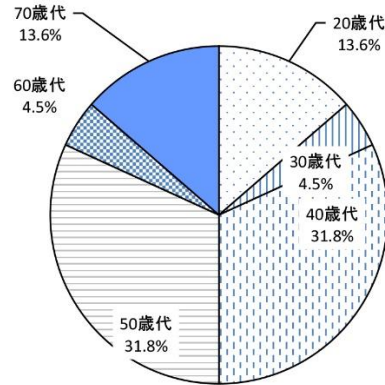
① お住まいの都道府県を教えてください（22件の回答）



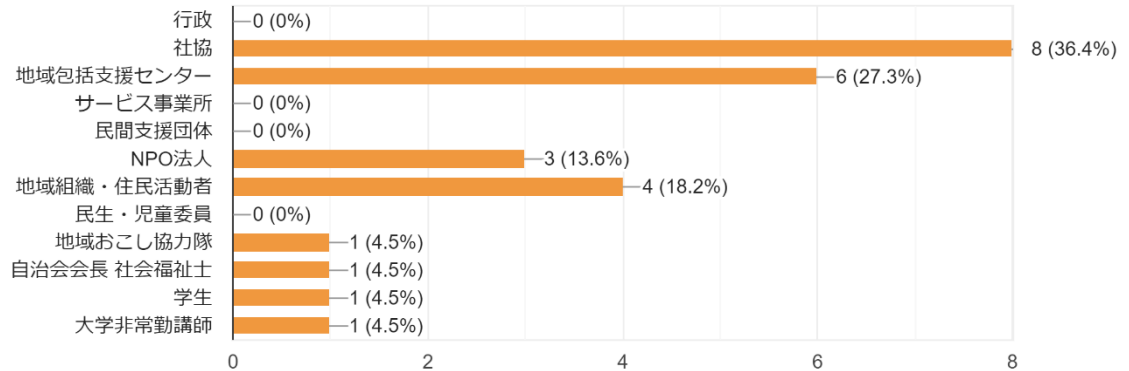
② 年代を教えてください（22件の回答）

③ 年代

| | | |
|------|----|--------|
| 10歳代 | 0 | 0.0% |
| 20歳代 | 3 | 13.6% |
| 30歳代 | 1 | 4.5% |
| 40歳代 | 7 | 31.8% |
| 50歳代 | 7 | 31.8% |
| 60歳代 | 1 | 4.5% |
| 70歳代 | 3 | 13.6% |
| 合計 | 22 | 100.0% |



③ 所属先を教えてください（22件の回答）



【2】 本日の内容についてお尋ねいたします (20件の回答)

地域社会とつながっていく大切さについて、特に池谷さんと上村さんの話しがとてもためになりました。

つぶやき拾い、いい言葉。地域のつぶやきをグッドニュースにしていることがもっと良かった。

私は今年度町内会でのお年寄りの方との食事会の係でした。合わせて10年前から子どものいるお母さん向けの集まりや主婦同士の生活の勉強会というような団体に所属しながら社会に少しでもだせるように活動を続けています。団体では子どもたちや子どものいるお母さんへの働きかけとしても全国でこそだてひろばのようなかたちでされているものの、実感として難しい部分もたくさんある中で、人に本当にとどいたことができないのではとか、町内会でも所属する団体働き手も少ない中でということもありますが、そもそも地域の中で福祉の力を高めていくにはどうあっていったらいいのかという中で、活動をしていきたいと思ったときに、どんなことが可能で、どんなことが足りないかということを実際に勉強させていただけました。来年度の活動を話合う中で、ぜひできることをかたちにしていきたいと思います。「福祉を社会に、社会を福祉に」「わけわけ地域マーケット」「どんな人であってもお互いが支えあう、受けてでなく担い手になりたいと思っている」私たちができる小さなことから始めて、「つぶやき拾い」「声ひろい」、求めていることをきける場を、そんな”しかけ”。つくっていくことを、子どものいるお母さんだけでなく、地域で困っている人などもいることにもつながるといことも信じて、まずしていけたらということ、仲間にもきいてもらって、話し合っって一歩を進めていきたいと思っています。長々となりました。本当に貴重な1時間半でした。今日はいち主婦にもこういったひらかれた座談会を快く提供していただき、本当にありがとうございました！

社会福祉法人湘南学園 専務理事塚本秀一様・NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝 Keisuke Ikegaya 様・たんぽぽハウス 上村加代子様 お三方の日頃の活動状況をお聴きし大変感銘を受けました。また、「地域の困った」を地域に行って直接聴く姿勢の重要性再認識致しました。

"直前の参加申し込みだったため、終盤の参加でしたが勉強になりました。

住民主体、住民自治の実現は、民主主義の根幹にかかわる重要な課題ですね。"

ご登壇いただいた皆様ありがとうございました。座談会の会話の中にとってもたくさんの気づきをいただきました。

児童、地域、障害と様々な分野で活動されている方のお話を聞いて大変勉強になりました。分野は違えど、目指すべき将来像=地域共生社会は同じなので、相互に協働し取り組むことが必要かと思いました。

"集まれる場所、地域の人々の声を聞くこと、一緒に食事をする、移動販売、地域のおまつりなどなど、今まで聞いていた言葉に対しての別の認識等がたくさん聞けたように思います。「いきいきサロン」の話の中で出てきていたお話しの中で、支援する側もされる側も参加する人が「安心できる場所」であることが大事だと聞き、担い手、やらされ感、住民主体などなどの「仕組みを作る側の言葉」のようなものが思い浮かんできて、自分の頭の中で少しずつ整理していっているように思います。行政の制度にとらわれずに、地域の声に合わせて活動されている方々の話を聞くことができ、刺激的であつという間の1時間半でした。"

"『居場所』について大変参考になりました。公民館にこだわらず、多様な居場所を作っていくこともあるということに気づきました。楽しく拝聴しました。有難うございました。"

"居場所について居場所ができているところに出向いていくことが顔の見える関係だと感じています。こちらがまぜてもらった感覚でいいんだなと思いました。受け入れてもらえるようにしていきたいと思います"

"コロナ禍での支援あり方や、地域の現状を聞くことができ良かったです。自分は時流に乗れず、固定概念にとらわれていたことに気付くことができました。居場所づくりを考えているので、安心安全を感じてもらおうという話が、とても参考になりました。アウトリーチの重要性を再意識することができたので、これから行動していきたいです。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。"

コロナ禍で見えてくる新たな課題や実情に共感する部分と驚いた部分とあり勉強になりました。また、池谷氏の「手間がかからない仕組みづくり」という部分で参考にしたい取り組みがありました。詳しく調べて是非参考にしたいです。

ありがとうございました。おもしろかったです。システム化してしまった今の居場所ではなく、多様な居場所があつていいというお話は納得でした。また一緒にやることをどう生み出すか知恵を絞ることが大切であるというお話もその通りだと思いました。生活支援コーディネーターです。今、自分の地域でも、まん延防止になりましたのでサロンは開催自粛しましょう、の先は個々の方法での関りになっております。どうすると

いいかいつも手探りで、何を地域にメッセージを出してみたらいいのか、そんなことも考えが浅く、迷宮入りしてしまうところでした。今日はコロナ禍のニーズの拾い方、つなげ方、発信の仕方、深め方、広げ方と、たくさんの要素を身近な方法や身近な方々にも照らし合わせられる話をたくさん聞くことができました。地域の方に電話すら迷っていた自分ですが、今の悩みにぴったりの聞いたかった話を聞けて、怖さが抜けた思いになりました。どうもありがとうございました。

普段なかなかお話を聞かせてもらうことができない他府県の活動で、先進的でありながらその取り組みを多様な声を大切に丁寧に進められているお話を聞くことができ、自分の仕事に大変参考になりました。

今だからこそ出来ることを！この事例を聞くことでいろいろイメージがわきました。

"防災で言う、自助、共助、公助ですが、地域福祉に照らし合わせると、共助で実力を発揮されている3者の実践は、たいへん素晴らしいものですね。社会福祉法人、NPO法人があるから共助による地域福祉が自助のところの支えとなります。また、公助にむけて地域福祉を推進させていく右腕？になります。3者は、取り組みの歴史、背景というか地域性、風土がちがうけれど、住民主体からの叩き上げ？でボトムアップされてきた上に、形が定まった姿であって私には経験がない。ので、資料を読み返して勉強をします。地域に開かれた学校は、現在は地域とともにある学校と進んでいて、人間の流れが双方向性となっていきます。池谷さんの言われる通りですね。

私は、個人的には、サービスマーケティング、アクティブラーニングというか、社会福祉協議会のボランティアセンターを中心に小学生から中、高、大学生が地域住民（学校、保護者も）何か協働できないかと思っています。私の住んでいる町は、現在2093世帯、人口3951人であり、自治会は39地区であります。これを2つか3つに区分けして、ここに住民主体で機能していく、みなさんが幸せを感じられて安心安全な住み良い町になるとよいと思っています。

2つか3つに区分けしないと、高齢者のかたが集まれません。

地域づくりで色々と、CLCさんに教えていただきながら進んできたので、今は、地域の元気だしのための新聞発行に夢中です。大変勉強になりました。ありがとうございました。これからも、よろしくお願いします。"

とても面白かったです。

地域ごとに、地域づくりの方法が違うので、もっとたくさんの事例に触れる事が参考になると感じた。

それぞれ、地域の実情に応じた活動をされているのが良かったです。また、北芝や湘南学園にも行ってみたいとなりました。

③その他のご意見やお気づきの点などがございましたらお聞かせください（自由記述）

4 件の回答

「居場所」は、制度として設えられた“場”だけではなく、「井戸端会議」や「軒先」などの“構えずに立ち寄ることができる”場面であって、それがアチコチにあれば楽しそうですね。あとは、コロナ禍も手伝っての「ひきこもり」の殻を破って出てくる機会づくりを地域でどう進めるか、というのも大切だと感じます。

まだまだ座談会がこの先も続きますように

もう少し時間があればと思いました。

本日のような機会があればまた参加させていただきたいです。

平常時にされていることの大切さも改めて理解できました